

経営比較分析表（令和6年度決算）

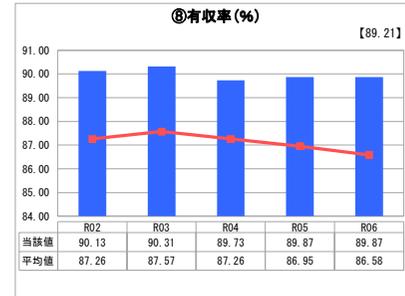
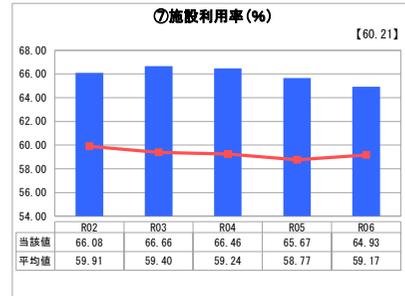
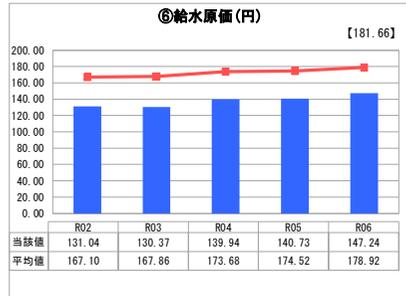
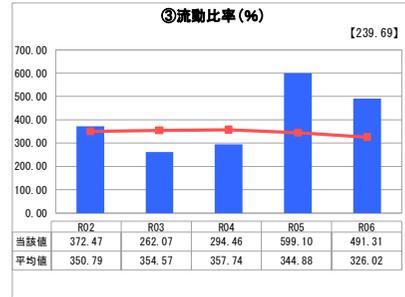
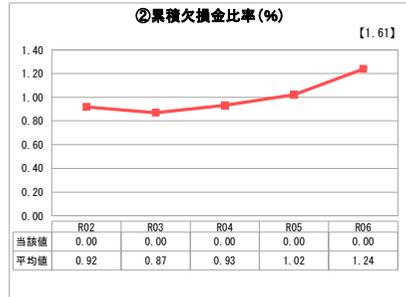
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	95.95	99.97	1,925	

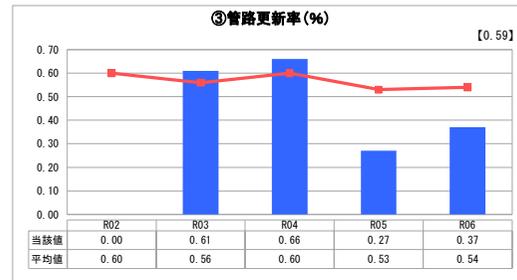
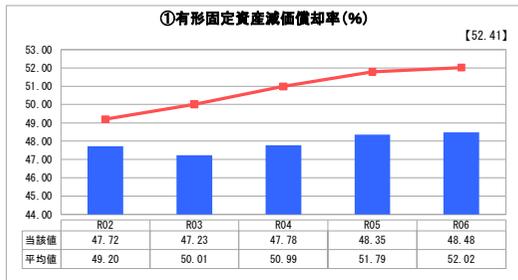
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
91,256	65.35	1,396.42
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
91,040	65.69	1,385.90

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
委託料や修繕費が増加した影響により、経常収支比率は前年度と比較し減少し、100%を下回った。給水収益も減少傾向にあるため、財源確保のための経営改善を行う。

②累積欠損金比率 該当なし

③流動比率
100%を上回っており、引き続き収益確保に努める。

④企業債残高対給水収益比率
企業債償還の進捗により、類似団体の平均値を下回っている。

⑤料金回収率
令和4・5年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民生活等の支援として行った基本料金免除の影響により、料金回収率が大きく減少した。基本料金減免の影響が解消され料金回収率は改善したが、給水に係る費用が増加したため、料金回収率が100%を下回った。

⑥給水原価
類似団体の平均値を下回っているが、給水費用の増加により、上昇傾向となっている。

⑦施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。将来的には人口減少による一日平均配水量が減少することが見込まれるため、適切な施設規模に注視していく。

⑧有収率
類似団体平均値を上回っている。継続して実施している老朽管更新によると考える。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
管路・施設の更新により類似団体の平均値を下回っている。

②管路経年化率
類似団体の平均値を上回っており、加えて近年増加傾向であるため、経営状態を勘案しつつ引き続き管路更新に努める。

③管路更新率
類似団体の平均値を下回っている。更新に係る費用の確保のため補助金等を活用し、今後も更新計画に基づき基幹管路を含む老朽管更新を実施する。

全体総括

当該年度は、基本料金減免の影響が解消され給水収益は増加したものの、有収水量は減少した。また、委託料や修繕費等の費用の増加により給水原価は増加した。こうした厳しい情勢のため委託料、修繕費及び動力費等の維持管理費や減価償却費等の推移を注視しつつ、経営戦略で示した水道料金の改定を検討していく。

老朽化の状況から分かるように水道施設や管路が老朽化しているため、今後も更新計画に基づき基幹管路を含む老朽管更新を予定している。

経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県東松山市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド1訓	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
91,256	13,805	第2種該当	-	7：1

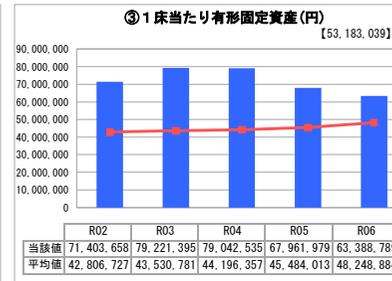
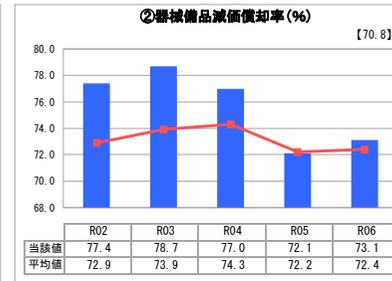
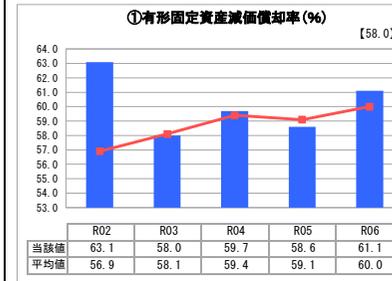
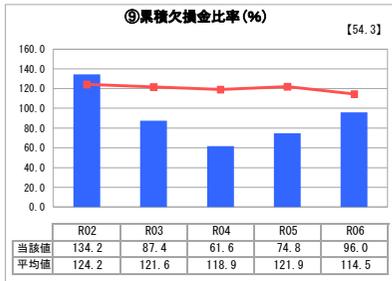
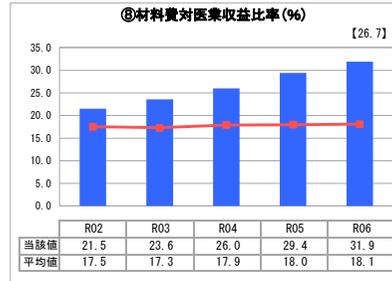
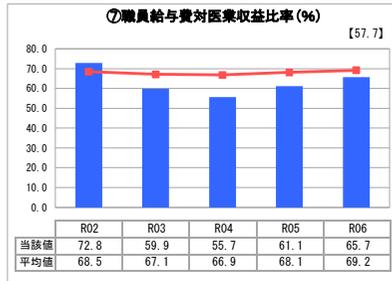
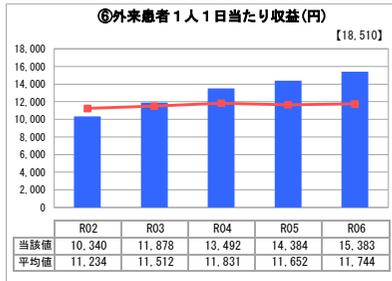
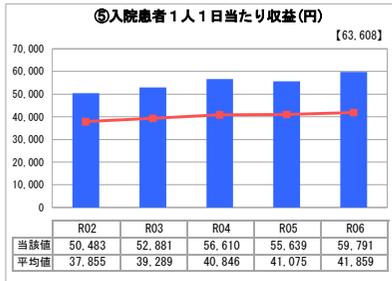
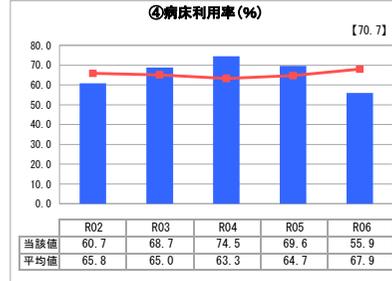
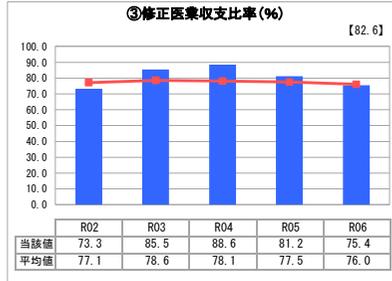
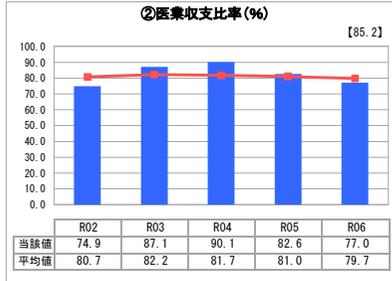
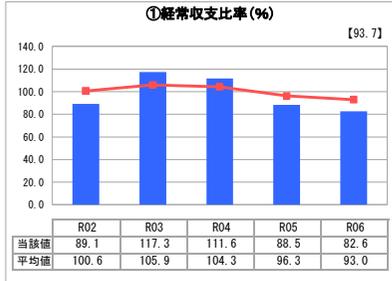
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
146	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	152
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
117	-	117

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワークを含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

比企地域のほぼ中央に位置しており、川越比企保健医療圏内唯一の公立病院です。二次救急医療や感染症医療などの政策的医療のほか、15の診療科を有する身近な総合病院として地域住民に安定した医療を提供しています。
地域における医療ニーズに応えられるよう、近隣医療機関や施設等との連携と機能分化を推進しながら、持続可能な地域医療提供体制の確保に貢献します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度は、救急患者の受入れを中心に患者の確保を行い医業収益が増加した一方、近年の賃上げや物価高騰による影響を受け医業費用が医業収益を上回る結果となり、①経常収支比率、②医業収支比率、③修正医業収支比率が前年度と比べ減少する結果となりました。
④病床利用率が前年度と比べ減少した原因は、泌尿器科等へ常勤医師を配置できず、入院患者数が減少したことによるものです。全体の入院患者数、外来患者数は前年度と比べ減少しましたが、患者1人当たりの診療単価が前年度実績を上回ったため、⑤入院患者1人1日当たりの収益、⑥外来患者1人1日当たりの収益が前年度実績と比較し増加しました。

2. 老朽化の状況について

×線装置の更新、本館1階総合集中治療室の新設、機能訓練室の地下1階移設及び地下1階トイレ・休憩室の改修工事を行いました。また、令和7年度に本館4階高度治療室の医療ユニットを改修するに当たり、現地調査及び設計業務を行いました。
①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率については、MR1や手術用機器等の老朽化に伴い前年度と比べ上昇しました。手術用器械等の更新・新規導入が今後必要になることから、財産の確保を含め引き続き長期的な視点に立つて計画的に進めていきます。
また、令和6年度4月から一般病床の病床数を134床から146床に増床したことにより、③1床当たりの有形固定資産は減少した結果となりました。

全体総括

救急患者の受入れ強化による患者の確保を行い、入院収益・外来収益ともに前年度実績を上回りましたが、職員給与・材料費の増加により経常費用が経常収益を上回り、①経常収支比率は昨年度比で下がっています。
また、泌尿器科等へ常勤医師を配置できなかったことから、入院患者数及び外来患者数が減少しました。
今後物価や人件費の高騰、減価償却費の増額などにより費用の増加が見込まれます。喫緊の課題となる医師や看護師の確保、入院支援体制を明確にし、急性期機能の強化と入院患者の増加・病床稼働率の向上を目指し、長期的に収益改善を図りながら経営の合理化・効率化を図っていきます。
引き続き経営強化プランに基づき、本院の方向性と地域での役割を明確にし、地域が求める急性期を主体とした中核病院を目指します。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和6年度決算）

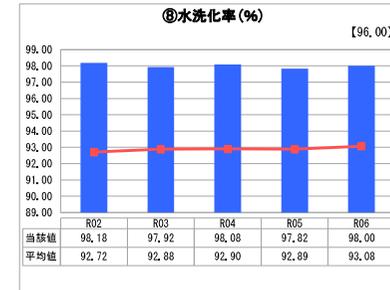
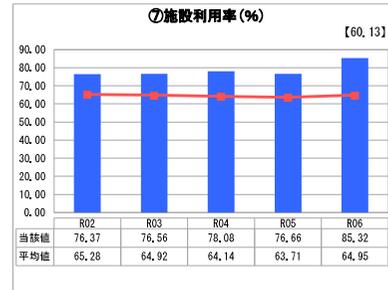
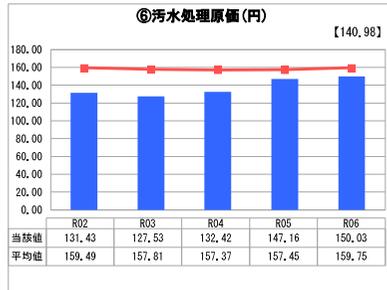
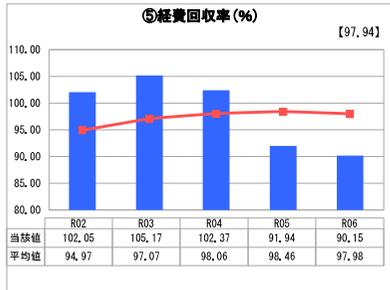
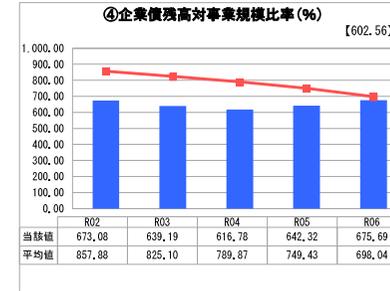
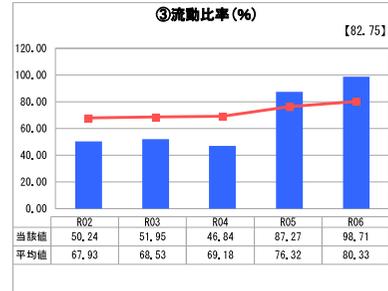
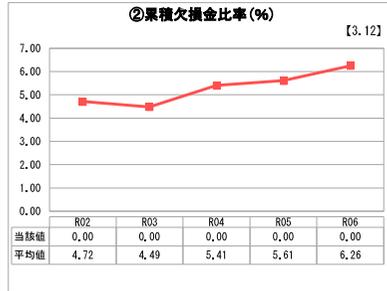
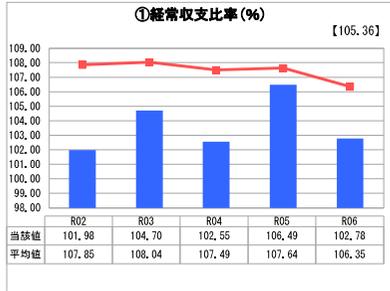
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.30	53.77	74.57	2,035

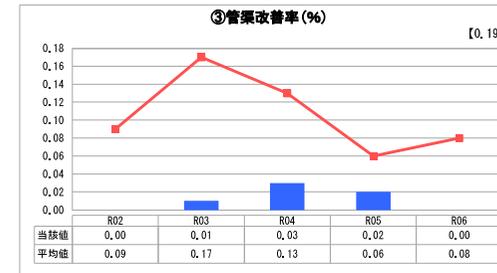
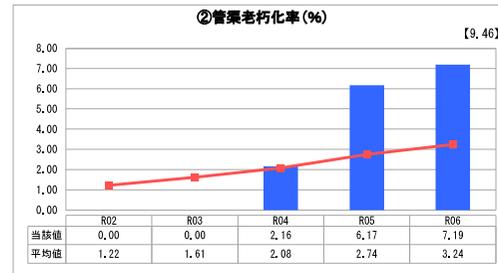
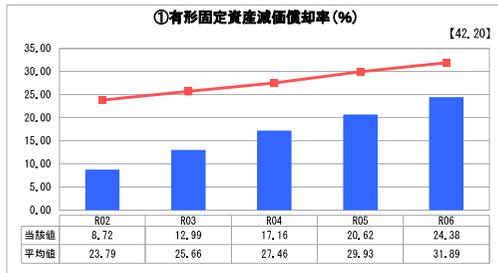
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
91,256	65.35	1,396.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
48,968	10.54	4,645.92

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
100%を上回っているが、施設の老朽化に伴う修繕費の増加等により指標が低下した。引き続き財源確保に努める。

② 累積欠損金比率
累積欠損金は発生していないが、引き続き財源確保に努める。

③ 流動比率
100%を下回っており、経営戦略のもとに、収益性の確保に努める。

④ 企業債残高対事業規模比率
類似団体の平均値を下回っているが、今後は施設更新及び管渠整備に伴い、企業債の借入が増加する見込みである。

⑤ 経費回収率
修繕費や委託料等の増加により汚水処理費が上昇しており、経費回収率が100%を下回った。

⑥ 汚水処理原価
類似団体の平均値を下回っているが、汚水処理費のさらなる増加が見込まれるため、それに対する財源確保に努める。

⑦ 施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。今後、未整備区域の整備を進めることで更なる利用率の増加が見込まれる。

⑧ 水洗化率
類似団体の平均値を上回っている。今後、下水道整備を進めるにあたり、速やかな接続を促進する。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っており、ストックマネジメント計画のもとに資産管理をしていく。

② 管渠老朽化率
類似団体の平均値を上回っており、今後は耐用年数を超える資産がさらに増加するため、ストックマネジメント計画のもとに適切に資産管理をしていく。

③ 管渠改善率
類似団体の平均値を下回っており、今後は耐用年数を超える資産がさらに増加する。更新事業費の増加が見込まれるため、ストックマネジメント計画のもとに適切に資産管理をしていく。

全体総括

経常収支比率は100%を上回ったが、経費回収率は汚水処理費の増加により令和5年度に引き続き100%を下回った。施設の老朽化による修繕費の増加により汚水処理費を下水道使用料で賄っていない状況である。

今後は耐用年数を超える資産が増加することで更新事業費の増加、処理場等施設に係る修繕費の増加等が見込まれる。下水道使用料を改定することで収益性を確保し、将来にわたり持続可能で安定した事業運営を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。